

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2022年（令和4年）5月18日

5月22日に行われます「天竜川上流総合水防演習」が間近に迫っておりますが、先日4月27日に4区の皆さんと「グループホームあやめ」、「ハートヒル川路」の皆さんにご協力頂き、当日放映される避難訓練のビデオ撮影が行われました。県南部に350mmの大雨が降ったとの想定で、午前9時に自主防災会が招集され、川路公民館に対策本部が設置されました。午前10時に「今後6時間以内に天龍峡の水位が20mを超える恐れがある」との「警戒レベル4」の避難指示が、飯田市危機管理課より増田川路自治振興センター所長経由で対策本部長の今村まちづくり会長に伝達され、一気に緊張した雰囲気になりました。避難に時間のかかるお年寄りがいる「グループホームあやめ」に「もしもし、あやめさん！今避難指示が出ましたので、お年寄りの避難を始めてください！」と電話で指示が出されました。あやめの滞在者は2台の車に分乗して、一旦川路公民館前に避難し、一台の車が先行して「ハートヒル川路」までの道のりの安全を確認した後、全員が無事高台にある「ハートヒル川路」に避難することができました。更に10時40分、4区区長の橋本幸雄さんから各伍長さんに避難指示が伝達され、率先安全避難者である伍長さんの声かけの元、隣組の皆さんが車で又は徒歩で川路公民館に避難されました。これらの一連の行動全てをCBC（中部日本放送）のプロが撮影し、2分前後のビデオにまとめ上げ、5月22日の水防訓練の中で放映される手はずになっております。放映はたった2分ですが、撮影は午前中いっぱいかかり、大がかりな撮影となりました。「グループホームあやめ」さんも「この撮影を機に避難訓練を真剣にできて大変良い経験になりました。」と喜んでおられました。5月22日はコロナの状況によりますが、堤防の上で一般の方も訓練の様子を見学できるそうです。9時から12時までと長時間になりますがビデオ放映は10時7分からの予定です。是非お出かけください。

今回は、「天竜川上流総合水防演習」に協力する形での避難訓練でしたが、本番は6月26日の「川路水害避難訓練」です。当初6月27日の月曜日を予定しておりましたが、平日での実施は、区役員の中にお勤めの方もあり、初めての水害避難訓練で区の役員の方抜きでは難しいとの判断にたって、前日の日曜日である26日に変更しました。詳細はこれから詰めて参ります。

有意義な訓練となります様に、ご協力を宜しくお願い致します。



避難指示に対策本部で伝達する今村会長



「あやめ」から避難する入居者の皆さん



避難経路の安全確認結果の報告を受ける



無事「ハートヒル川路」に到着した避難者



率先安全避難者の橋本良彦さんの行動撮影

## まちづくり委員会総会は書面表決となりました

4月24日に予定されておりました、まちづくり委員会総会はコロナのため急きょ中止となりましたが、5月6日までに書面表決を実施し、賛成多数で各議案は承認されました。総会で予定していた説明は、5月10日の役員会で短時間ですが各委員長に説明していただきました。今村会長の説明を今回（令和3年度報告）と次回の役員会便り（令和4年度計画）でご報告致します。

### <令和3年度の事業報告 今村会長説明骨子>

令和3年度も新型コロナウイルスの影響が続くような事業展開ができなかったと言わざるをえません。そうした状況の中で、会議などできることを行ってきました。

皆さんの協力をいただき、川路フォーラムを開催し、36災60年を契機に「川路水害予防の日」を制定できたことは大きな成果です。役員会では、この際天竜川についてもっと知ろうと、美和ダムの視察を行い、天竜川上流河川事務所の持っているデータの提供を求めるなどして、現在の治水対策の実力をできる限り正確に知ることに努めました。その結果、安全度は少し上がっているとのデータを得ることができました。しかし、近年の異常気象は尋常な状態でないことは皆さんもご承知と通りです。私たちの生活と切り離せない天竜川と改めて向き合い、監視していくとともに、災害の予防、減災に向けての備えを強化しなければなりません。

まちづくり委員会の組織見直しでは、地域振興委員会を区長会と一体化するようにしました。これによって事業規模を見ながら大きな人数を動員することが可能になり、ダイナミックな組織運営ができるようになりました。また、今年度、委員会会計を一元化し役員負担の一部を軽減しました。広報を公民館報に統一しました。ホームページにも専門のオペレーターを導入して更新をスムーズに行うようにしています。こうした組織見直し、業務の改善を続け業務の効率化と事業の継続性を高める努力を続けて参ります。

一昨年から検討してきた土地利用計画は、概要を各区のタウンミーティングで説明をしました。その中で非常に関心の高かった里山管理組合について具体像が見えてきましたので、今後山林の所有者の方を始め、住民の皆さんに詳しく説明しご理解を得たいと思います。今年度から始めた基本構想の検討作業の中では、天龍峡観光活性化検討分科会と農業活性化検討分科会を新たに立ち上げて検討を進めています。その農業部門では今年、川路農園を立ち上げました。農業に関心を持っていただける方を今後も増やしていきたいと思っています。

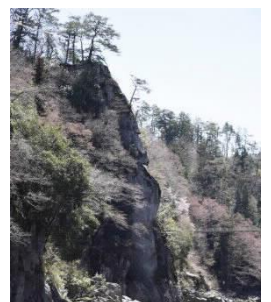
地元企業の中に、どの程度川路在住者が雇用されているかをアンケート調査しました。29社にアンケートをお願いし16社から回答を得ましたが、川路在住者は僅か10%でした。その後の動きですが、アンケート調査した事業所から求人の案内が3件あり、お知らせ版かわじで広報したところ、1件の雇用が生まれました。やはり状況を打破するためにはこちらから積極的に動くことの大切さを知った出来事でした。

積極的に動くという点では、川路に帰ろうキャンペーンでのふるさと納税件数が13件で、この件数は全市20地区の中で一番の数字となっています。

以上、区長会・地域振興委員会、役員会の報告として、いくつかの成果と経過をご説明しました。

## 舟から天龍峡十勝を見ませんか！

川路まちづくり委員会は、天龍ライン遊舟の協力をいただき、舟で天龍峡十勝を見学する企画を計画しました。川路が誇る天下の名勝「天龍峡」を良く知らない若い皆さんに、是非楽しみながら天龍峡の事を知っていただき、誇りに思っていたきたいとの企画です。詳細は、各戸配布のパンフレットをご確認ください。



舟から見る龍角峯